

地域活力部

令和2年度はコロナ禍で多くの行事が中止になり、毎年秋の市辺地区の恒例行事である「万葉フェスタ」も中止となり、寂しさが募ります。東近江市内の他地区の方から「今年は万葉フェスタは中止ですか？」と尋ねられ、万葉フェスタの知名度が高まっている中での中止となり残念でした。

万葉の森船岡山への来訪者も例年に比べ少なく感じました。夏頃、船岡山で近江八幡市の中年女性に出会った時に「あっ！新聞に載っていた人、来年はムラサキ貰えるんですか？」と言われた時はびっくりしました。

コロナの心配がなくなり、早く万葉フェスタが開催できるよう祈ります。
(部長 森島 安夫)

自然・環境部

コロナ禍で多くの事業が制限されている中、見学研修を環境講演会に変えた他は、ほぼ例年通り実施することができました。

芋掘りを楽しみにしている園児たち、堆肥の良さを広く知ってもらうためのゴーヤやレタスの苗配布。そのためには、旬々の手入れが必要で、その終わりはがありません。幸い作業は屋外で三密の心配はなく、部員の快い協力もあり、進めることができました。園児たち、地域の受け取りの方々の笑顔が部員にとって何よりの励みでした。因みに2月のサニーレタスの配布では400株すべての苗を完配しました。

新型コロナウイルスがいまだに収束しない中で、やむを得ないことでありますが、万葉フェスタが開催されなかったことは残念でした。もし開催されれば「船中の制服おゆずり会」=使わずに持っておられる制服を新たに入学される方に譲ることによりごみ減量と温暖化防止を図る企画でした。フェスタでは提供の意思、男子・女子用、サイズ、と利用の意思の確認をさせていただき、双方を繋ぐ機会にしたいと考えています。令和3年度開催されたいと思っております。現物を持っておられる方、また、新規購入を予定されている方のご利用をお願いします。

(部長 小西 恵美子)



子ども健全育成部

昨年度は、新型コロナウイルスの懸念はもちろんですが、私を含め子ども健全育成部の部員のほとんどが初めての経験であったこともあり、何をすればいいのか考えることからスタートした1年となりました。

しかし、みんなで発案したアイデアにより、文化祭で「手作りしおり」を配布することが決定すると、毎月の部会だけでは時間が足りないので、各自が自宅で作成した「しおり」を持ち寄り、好評のうちに配布することができました。また、当日「しおり」が足りなくなっただけでなく、急ぎよ手伝っていただいた小学生の皆さんにもお世話になりました。

部会だより

令和2年度をふり返って

コロナ禍で制限があっても、子どもたちを思う気持ちやふれあいの大切さにあらためて気づかされた1年となりました。ありがとうございました。
(部長 森 耀一)

安全・安心部

昨年度は、新型コロナの影響により、万葉フェスタでの出店やAED講習会など、例年行っていたことができませんでした。「いつものことが、いつも通りにできること」の重要性を再認識し、また、その様な一見平凡なことが私たちの「安心」の基礎となっていることを痛感しています。そうした状況の中で、安全安心部は以下の活動を行いました。

- ① 防犯パトロールへの参加
- ② 防災無線での地震に対する啓発活動
- ③ 「減災カルタ」の製作および市内の小学校(22校)へ寄贈
- ④ 減災・防災関連書籍およびDVDの購入
減災カルタや書籍・DVDは各地区の減災・防災活動に役立てばと考えています。
(部長 柴田 俊幸)

健康・福祉部

令和2年度を振り返ってみますと、市辺コミセン、市辺地区社協と共催をさせていただき、当初の事業を実施することができました。ありがとうございました。

- ① 「市辺地区シニアグランドゴルフ大会」
館長杯を争奪する75名の皆さんが競い合い、楽しい一日でした。(9月9日・布施公園)
- ② 「ご長寿ふれあいサロン」
市辺地区80歳以上の高齢者を対象とした「ご長寿ふれあいサロン」が(12月2日13時30分～15時)開催されました。招待者対象者の内37名が参加されスタッフ含めて50名が集い、アトラクションには江州音頭の真鍮家文好ご一行をお招きしました。賑やかで楽しいひと時でした。
- ③ 「支え合い事業」として、市辺地区社協の「見守り事業」の給食ボランティアの皆さんに、高齢者配食対象者の為に月2回お弁当を作って戴いています。その活動に感謝の意を込めてマスク1000枚を市辺地区社協を通じて寄贈致しました。
- ④ 福祉講演会を2月予定しておりましたが、中止と致しました。

来年度事業計画に於いては、コロナ禍収束は難しいと思いますが、対策を立て乍ら出来るだけ実施したいと思います。
(部長 今井 肇)



新型コロナウイルスワクチンの接種予約が始まります。高齢者への集団接種の開始は、5月10日からの見込みとのことであり、いよいよ新型コロナとの正面からの闘いが始まります。

古くはペスト、天然痘、結核やコレラから鳥インフルなど、人間は感染症を封じ込めてきましたが、感染症は隙を見つけて広がります。

暖かくなり行動範囲が広がる時期ですが、お互いに気を抜かず頑張りましょう。(K. T)



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第55号

令和3年4月



「おねえちゃん お花きれいだね！」
菜の花と桜 子どもたちの歓声が聞こえます
(東市辺草野根グランドにて)



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392

Facebook



ホームページ



「市辺の地域福祉を考える“市福みらい会議”」のスタートにあたり

政府の施策として介護保険制度の中で「生活支援体制整備事業」が取り組まれており、本事業は介護保険の要支援者だけでなく、すべての高齢者を対象に、社会参加をすることが介護予防につながるという考えのもと、一人ひとりが役割を持って「私にとっても、これなら安心!」と思える地域づくりを進めて行くものです。

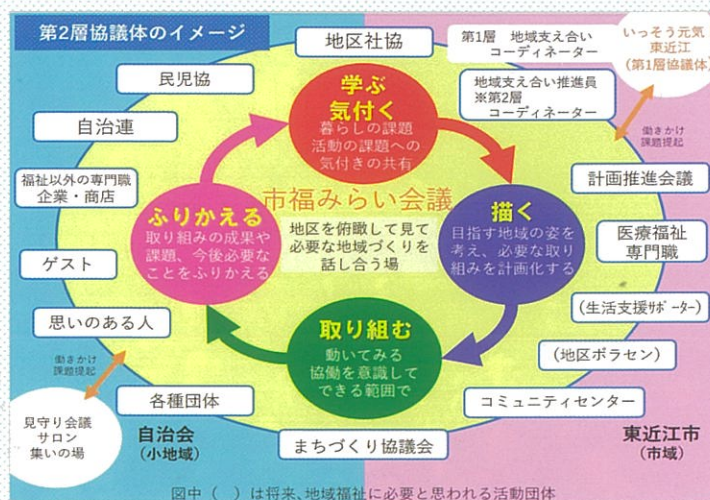
市辺地区まち協・地区社協・民児協・市社協の代表者に加え、コミセン職員全員が集まり、支えあいの為の必要条件として「情報の共有化」「組織を超えた話し合い」などが確認されました。

令和3年度からコミュニティセンターの指定管理の基本協定にも「地域福祉活動」が盛り込まれ、市辺地区では「市辺の地域福祉を考える“市福(いっぶく)みらい会議”」と称し、「地域づくりを話し合う場」第2層協議体として取り組みます。市内の他地区では既に取り組まれているところもあります。

参加メンバーや対象の年齢条件を設けない事など地域福祉を広義に捉え、地域の住民が心も身体も健康で健康長寿を目

指して取り組むものです。住民の皆様の「思い」や「願い」、「声」をお聞きして自由な意見交換のもとで、気付きの場として取り組んでいきます。一人ひとりの命と暮らしを守る「支縁(しえん)」の輪を広げていきたいと思います。

(コミセン館長 木田 行男)



減災プロジェクトの歩み

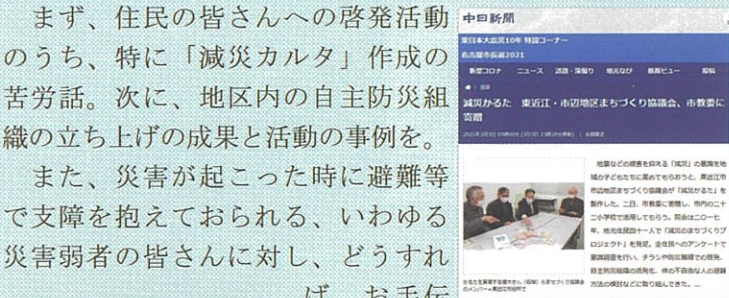
去る2月19日、八日市文芸会館において私たちが取り組んできた「減災のまちづくり」について、市民の皆さんに発表する機会を得ました。平成28年5月に立ち上げ、実質的に動き出したアンケート調査の隠れたエピソードから、三つのグループ毎の約3年間に及ぶ活動を紹介しました。

まず、住民の皆さんへの啓発活動のうち、特に「減災カルタ」作成の苦労話。次に、地区内の自主防災組織の立ち上げの成果と活動の事例を。

また、災害が起こった時に避難等で支障を抱えておられる、いわゆる災害弱者の皆さんに対し、どうすれば、お手伝いできるの

かを考え、避難に関する個別計画を作成することにしたもののコロナの影響で活動が中断してしまったこと等を報告するとともに、今後の活動にあたっては、従来のプロジェクトチームに変わり、「市辺地区減災活動連絡会議」を立ち上げ、具体的に取り組んでいくことや、自治会未加入の住民の皆さんに対応する役割は、まちづくり協議会にあるのではないかとの問題提起をさせて頂いて終了しました。

(市辺地区減災活動連絡会議 榎木 貞夫)



まち協第1回「運営委員会」を開催 補正予算承認・臨時総会は「書面決議」に

2月20日、市辺まちづくり協議会第1回運営委員会が開催され、「令和2年度補正予算について(コミセン部門)」「役員推薦について」「規約の一部改正について」「臨時総会について」の4議題について協議されました。

補正予算については、社会保険料値上げとコロナ対応で、やむを得ない補正と言うことで承認されました。評議委員会からの令和3年度役員推薦(会長等5役職)の報告ならびに規約の一部改定提案について、異議なく臨時総会への提案が確認されました。臨時総会の開催については、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み「書面表決」による事が決定されました。

令和3年度 臨時総会(書面表決)の結果について 新年度役員選出・規約一部改定を可決

令和2年度の臨時総会(書面決議)が行われ、令和3年3月12日午前10時から開票がされました。

開票の結果、第1号議案「令和3年度役員」については、賛成78・反対0。第2号議案「まちづくり協議会規約の一部改定」については、賛成77・反対1で両議案とも過半数の賛成で可決されました。(会員数98名)

役	職	氏名(敬称略)
会	長	須田 智 廣
副	会 長	令和3年度自治会連合会から選出
副	会 長	谷 精 一 郎
副	会 長	平 尾 彌 一
事	務 局 長	柴 田 俊 幸
業	務 主 任 者(館長)	木 田 行 男
会	計 監 事	沖 光 男
会	計 監 事	令和3年度自治会連合会から選出
会	計 監 事	令和3年度自治会連合会から選出

歴史・文化部

DVD「地蔵盆」が完成

各自治会の協力を得て進めてきました地蔵盆のDVDがこのほどようやく完成しました。

近く、各自治会等に配付いたしますのでご活用下さい。なお、DVDは一部と二部に分かれています。第一部は、東市辺・西市辺・糠塚・野口・三津屋を、第二部には布施・蛇溝・長谷野・柏・船岡の地蔵盆の様態を収録しています。

1枚100円で希望者に販売していますので事務局にお申し付け下さい。

10年後にはなつかしい地蔵盆になること間違いなしです。



お知らせ「古歌の看板」設置

古来より玉緒山(布施山)の優れた景観が、他にも知られており、多くの歌に詠まれてきました。

そこで、布施公園入口に「古歌の看板」を設置しました。

是非一度、布施公園から溜池を回り、布施山から万葉のまち「いちのべ」を一望しては如何でしょうか。



「部会だより」

歴史・文化部の令和3年度の事業計画は、

1. 「市辺歴史発見塾」年2回開催します。昭和24年国の重要文化財に指定されている「布施神社の建築様式とその特徴」(仮題)を村田信夫氏(東市辺町在住 歴史的建造物修復建築家、元滋賀県文化財保護課勤務)に講演を8月に予定しています。
2. 各町の寺社等のDVD制作 各町にある寺社をビデオ撮影し、宗派や祭事等を紹介するものです。
3. 千草街道を歩く 3年前から続けている「歴史街道を歩く」は、保内商人も通行した「千草街道を歩く」を秋に実施予定しています。
4. 布施山城遺跡への山道整備 昨年に引き続き布施山城遺跡への山道整備を行います。なお、滋賀県文化財保護課が発行している「近江の城カード」第3弾に布施山城が登場し、4月27日からカードの配布が始まります。(部長 苗村 久男)

『歩こう会』

歩く健康プラス歴史散策

市辺コミュニティセンターと市辺地区スポーツ協会主催の『歩こう会』に参加しました。

約6kmとちょっと短めですが、万葉のまち市辺めぐりと言う主旨も含まれているとの事で、歩く健康プラス歴史散策と盛り沢山な企画でしたので、とても楽しい時間を過ごしてきました。



普段何気なく通り過ぎる地元の神社やお寺や道標・開拓の碑など12か所をじっくり見て、その由来などを聞いて大変勉強になりました。また各場所の説明を顔見知りの地元の方がしてくれたので歴史などの話がわかりやすくとても身近に感じられて良かったです。

個人的には長谷野の開拓の碑での話が興味をひきました。想像を絶する熱い情熱で努力された開拓者の方々の姿が見える思いでした。そして午後2時頃、参加者50名が無事に帰館しました。来年も楽しみにしています。

(船岡町 高頭 勇二)

令和2年度“集(つど)いいね”大賞 わがまち「えんかクラブ」に輝く

昨秋、東近江市社協で、地域で、何気なく、気軽に、気楽に、楽しく集いの場を作り活動されている団体を募集されました。

東近江市内から25団体の応募があり、市辺地区から「えんかクラブ」が応募されました。

各団体の活動内容の展示紹介が、昨秋10月末から11月末まで、東近江市内各地区の文芸会館、コミセン、図書館等を巡回されました。

展示紹介を見ていただいた皆さんには、“いいね”と思われたところに投票が行われました。

開票の結果、わがまち「えんかクラブ」が“集いいね”大賞に選ばれました。おめでとうございます。

(市辺地区「えんかクラブ」ファンより)

